

【和歌山県有田市】

有田市農業次世代人材投資事業(定住型)
「AGRI-LINK IN ARIDA」について

有田市では、主産業であるみかん産業における高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等が問題となり、2019年に㈱リクルートと連携し、新規就農の新たなモデルとして、「新規就農者」「農地提供者」「受入れ農家」間でのトライアングルのマッチングを行い、それぞれにメリットを享受できる仕組みを確立している。新規就農者は、受入れ農家にて2年間の研修を受け、技術の習得や農地・出荷先を確保し、3年目に独立する。



【和歌山県有田川町】

有田川エコプロジェクトについて

有田川町では、分別促進により高品質の資源ごみが収集できることから、資源ごみ処理費のマイナス入札に成功している。加えて、行政施設などへの太陽光発電設置やダムを利用した小水力発電所建設による売電収入も得ており、合わせて環境対策のための基金に積み立てている。

基金は、住民向けの太陽光発電や太陽熱温水器等の設置補助、環境教育などに見える形で活用されており、循環型の仕組みを確立している。



【大阪府大東市 株式会社コーミン】

もりねき morinekiプロジェクトについて

大東市では、全国初のPPP(公民連携)手法による公営住宅の建替えおよび再開発を行っている。旧公営住宅跡地であるmorinekiエリアは、「住宅エリア」「公園エリア」「民間事業エリア(レストラン、ベーカリー、アパレルショップ等)」から構成されており、エリア内では多彩なイベントも開催され、交流の場や家族連れの憩いの場としても活用されている。

また、おしゃれなエリアとして注目されており、新たな出店や地価上昇など周辺の活性化にも影響を与えている。



【新潟県糸魚川市】

0歳から18歳までの子ども一貫教育方針について

糸魚川市では、ここで生まれ、育ち、学び成長を続ける子どもたちが、家庭、地域、学校等の連携の下、心・健康・学力のバランスが取れ、夢を持った子どもに育つことを目指し、一貫教育に取り組んでいる。適時適切な教育と、0歳から18歳まで切れ目のない支援を提供し、郷土愛を醸成することで、子どもたちが地元を誇りを持てるよう育成している。



【長野県小布施町】

町立図書館まちとしょテラソについて

まちとしょテラソは、地域住民と行政が共に意見・提言し、議論を重ね、平成21年に開館した町立図書館である。

館長を公募制としているため、全国から様々な経歴の方からの応募があり、施設の随所に館長特有のアイデアが見受けられ、多くの住民の憩いの場として親しまれている。



【長野県佐久市】

議員提案による「佐久市いじめから子どもを守る条例」の制定について

佐久市では、市、教育委員会、保護者、市民が協力していじめをなくし、子どもたちが安心して生活し、健やかに成長することができるまちづくりを進めるため、議員提案による条例を制定した。

条例では、市、教育委員会、学校(教職員)、保護者の責務や、市民の役割を定め、社会全体で子どもが一人の人間として尊重されるための環境づくりを目指している。

